

[前週の情報](#) ← → [翌週の情報](#)

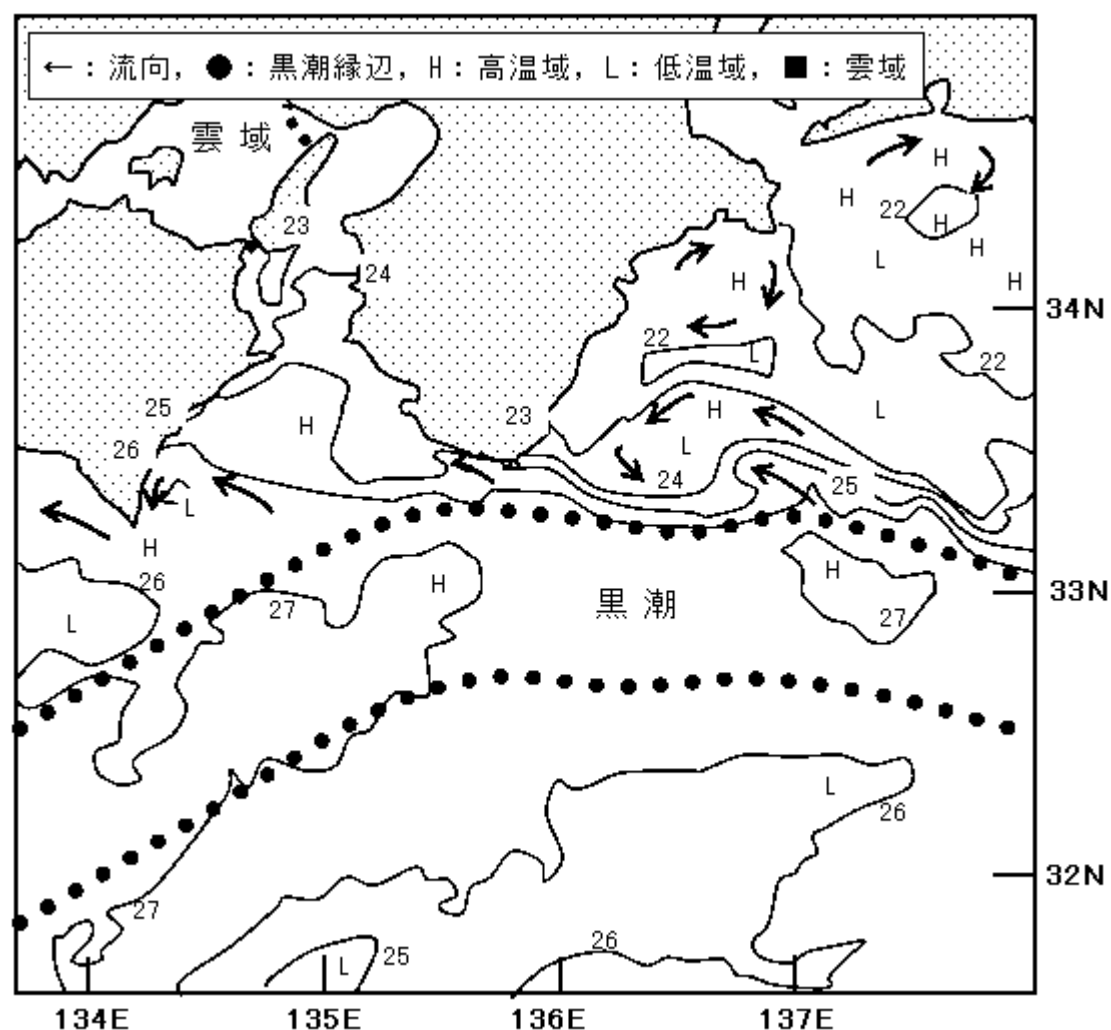
10月は「全国漁船安全操業推進月間」です。海中転落事故から命を守るために

◇ ライフジャケットは常時着用し、防水の携帯電話も身につけましょう。

◇ できる限り集団操業を心がけましょう。

◇ 自動停止装置、船上に戻るハシゴなどの設置を進めましょう。

### 1. 海況の経過



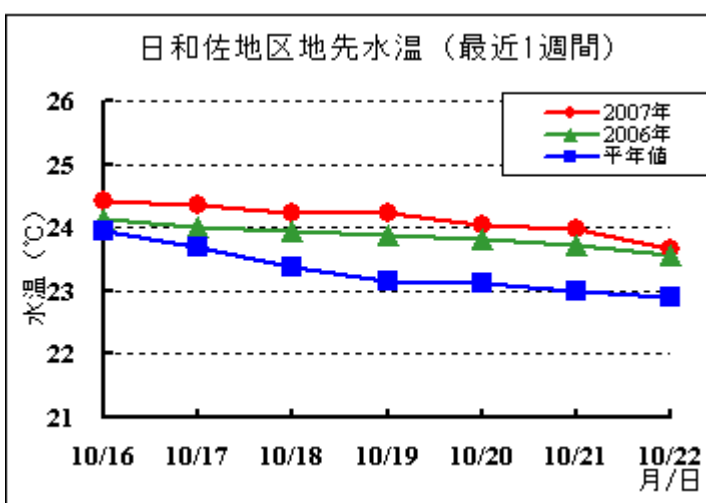
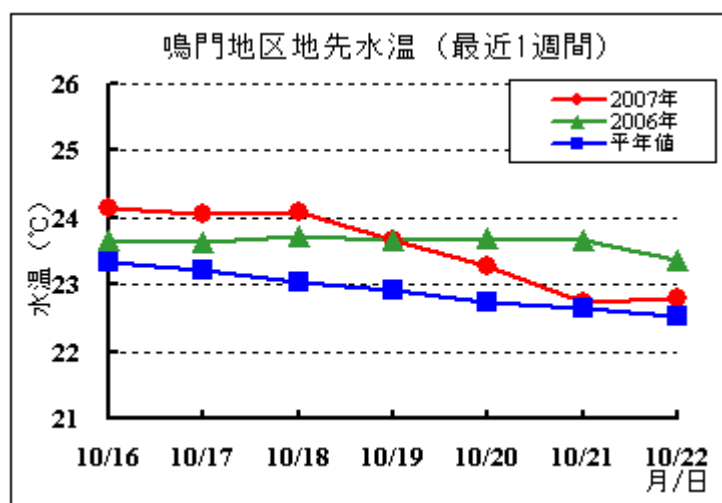
上に和歌山県の人工衛星海況速報(H19.10.21~22)を示した。

黒潮は室戸岬でやや離岸し潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は26~27℃台である。

表面水温は播磨灘は雲のため詳細は不明。紀伊水道内部は22~24℃台、外域は24~26℃台である。気温の低下の影響で、先週に比べ水温が低下している。紀伊水道沖合からの26℃台の黒潮系水が室戸岬東に到達している。

### 地先水温

最近1週間の地先水温は、いずれの地区も「平年並み」~「やや高め」であり、鳴門地区は22.7~24.1℃、日和佐地区は23.7℃~24.4℃、牟岐地区は22.4~24.0℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、かます類が1.9トン(1日1隻あたり24kg)、マアジが1.0トン(同27kg)、マルソウダが0.8トン(同15kg)、タチウオが0.6トン(同28kg)、アオリイカが0.2トン(同5kg)水揚げされた。

**建網:**海部沿岸で、カワハギが0.5トン(同16kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、小主体にタチウオが2.6トン(同49kg)、大主体にヨコワが0.6トン(同24kg)、中主体にシイラが0.3トン(同30kg)、紀伊水道で中主体にサワラが1.1トン(同36kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが14.9トン(同150kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 10月15日～10月21日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	かます類	76	1,855	24	
		マアジ	37	1,012	27	
		マルソウダ	51	781	15	
		タチウオ	22	613	28	
		アオリイカ	47	235	5	
建網		カワハギ	29	468	16	
釣り	海部沿岸	タチウオ	54	2,633	49	小主体
		ヨコワ	23	563	24	大主体
		シイラ	9	269	30	中主体
	紀伊水道	サワラ	30	1,072	36	中主体
パッチ網		シラス	99	14,850	150	

### 特異事項:

聞き取り調査によると、海部沿岸で大主体にカツオがまとまって水揚げされている。

### 週間予報:

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともにやや離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「やや高め」の22～23℃台、日和佐地先が「やや高め」の23～24℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の釣りでタチウオが1.4トン(同10kg)、イサキが1.3トン(同9kg)水揚げされた。

パッチ網でシラスが4.5トン(同76kg)水揚げされた。高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが2.9トン、マイワシが1.5トン、ウルメイワシが1.0トン、マルソウダが1.6トン、カマスが1.9トン水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上